

はじめに

このたびはフォナック社製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。

CROSLinkは、一側性聾など聞き取りができない（または難しい）側の耳に入ってきた音を良い耳の方に誘導して聞くCROS（クロス）補聴器システムです。システムはマイクロホン内蔵の送信機“CROSLink Transmitter”と、補聴器に接続して使用する受信機“CROSLink Receiver”の組み合わせでご利用いただけます。受信機”CROSLink Receiver”は外部入力可能な市販の殆どの耳かけ型補聴器と一緒に使用でき、取り扱いも非常に簡単です。なお、CROSLinkの効果を最大限に利用されるためにはフォナック社製の補聴器と一緒にご使用されることをお勧めいたします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- お使いになる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管ください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や他人への危害、財産への損傷を未然に防ぐための内容を記載しておりますので、必ずお守りください。
- 次の表示区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

△ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
△ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。
△ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「損傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

ご使用にあたって

- **フォナックCOREシリーズのマイクロタイプ補聴器にはクロスリンクはご利用になれませんのでご了承ください。**

△ 危険	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分解、改造をしないでください。火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。 ・ 濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。 ・ 火のそばや、直射日光の強いところ、炎天下の車内など高温の場所に放置をしないでください。
------	--

△ 警告

- ・ 強い衝撃を与えたり落としたりしないでください。
- ・ ペットのそばや子どもの手の届くところに保管しないでください。万が一、誤って飲み込んでしまった場合、直ちに医師にご相談ください。
- ・ お手入れの際には水やその他の流体を使用しないでください。

△ 注意

- ・ CROSLinkはフォナック・ジャパンまたはフォナック・ジャパンが指定するサービス・センターによってのみ修理可能です。
- ・ フォナック指定の付属品を使用してください。
- ・ レントゲン撮影やCTスキャン等の画像診断機器はCROSLinkに悪影響を及ぼします。これらの撮影を受ける前にCROSLinkを身体から離し、撮影室の外に置くことを強くお勧めします。また、MRIスキャンは強い磁気を用いるので、MRI室に入る前には必ず身体から外してください。
- ・ 航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではCROSLinkのご使用をお控えください。電子機器や医療用電気機器に影響を与える場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

本体付属品

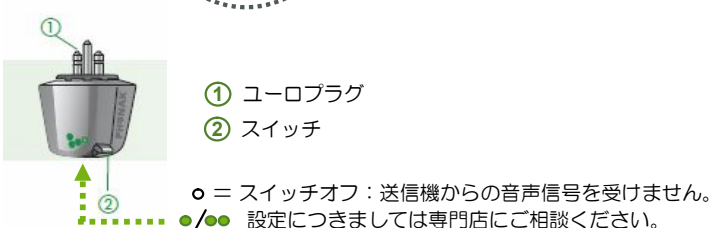
- ・ CROSLink Transmitter（送信機本体、以下クロスリンク送信機）
- ・ CROSLink Receiver（受信機本体、以下クロスリンク受信機）
- ・ Fit'n Go Kit（チューブ）
- ・ 電池（PR48）
- ・ 取扱説明書（本書）
- ・ 保証書

各部の名称

◆送信機

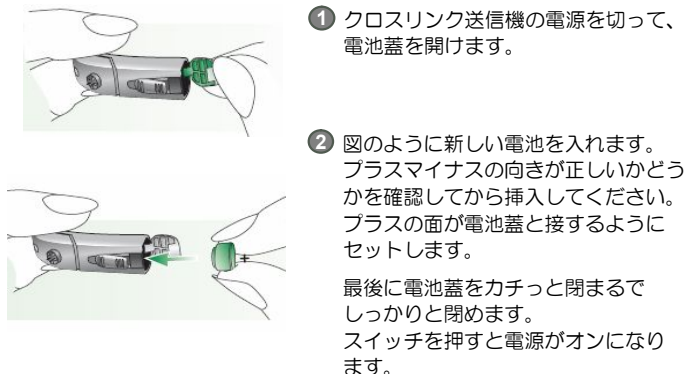


◆受信機



電池の入れ方

クロスリンク送信機には、サイズPR 48（13）の電池を使用します。電池の挿入（または交換）はクロスリンク送信機の電源を切ってから行ってください。



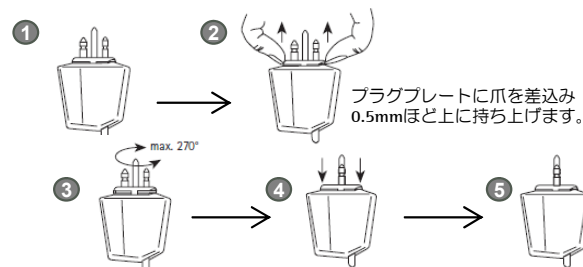
※クロスリンク送信機の電源が入っている状態でボタンを押しても音声がか聞こえなくなった場合には電池を交換してください。

クロスリンク受信機のプラグの回転方法

補聴器の種類により、プラグを回転させる必要があります。以下の図のように補聴器を置いた場合、クロスリンク送信機両面に付いている緑のマークが手前に見えるようプラグを回転させてください。

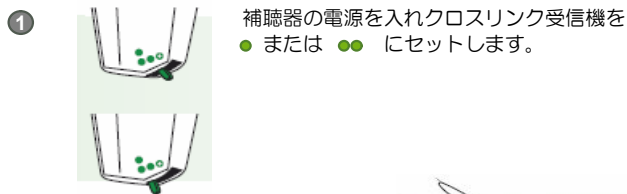


回転方法



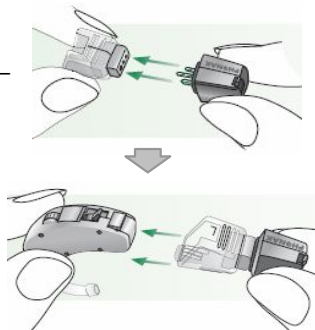
※ プラグの両端は太さが異なります。オーディオシューの穴の大きさを確認して差し込んでください。
※ クロスリンクを使用していない場合も受信機をはずす必要はありません。

クロスリンク受信機の準備



② クロスリンク受信機を接続したオーディオシューを補聴器につけます。

接続された補聴器を耳に装着して準備完了です。



クロスリンク送信機の装用方法

クロスリンク送信機のスイッチをオンにして聞き取りができない、もしくは聞き取りにくい耳へ装用します。



ストッパーは耳介の内側にそって装着することで、快適かつ安全にクロスリンク送信機を保持することができます。

クロスリンク送信機本体を、聞き取りができない、もしくは聞き取りにくい耳の耳介の後ろに装着します。その後、外耳道にワックスガードチップを入れてください。ストッパーは安全な装着のために後方、外耳の隠された部分へ曲げてゆっくり押し込んでください。



その他

クロスリンクはさまざまな方向からの音をバランスよく送受信できるよう、以下のステップで音量の変更・確認ができます。

◆ステップ1：補聴器の音量を調節する

クロスリンク送受信機を装着して、補聴器のみに電源を入れます。



- ① 良聴耳に専門家から勧められたとおりの音量で補聴器をセットします。音源にはラジオを使用します。
- ② ラジオ正面から1m離れたあたりでいすに座ります。よりよい聞こえの位置までゆっくりと補聴器の音量を調節します。
- ③ 最適な音量を決定します。

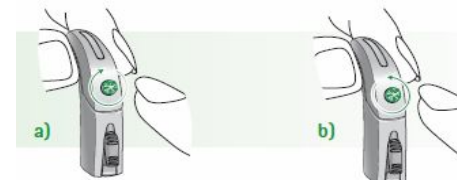
◆ステップ2：クロスリンク送信機のレベルを調節する

クロスリンク送受信機に電源を入れ、受信機のスイッチを専門家が推奨したとおりにセットします。



- ① ラジオのスピーカーに、聞き取りができない、もしくは聞き取りにくい耳を向けるように180度回転して座ります。
- ② ステップ1で得た音量と合致するような快適なレベルまでクロスリンク送信機のボリュームコントロールを調節していきます。
- ③ もう一度ステップ1と同じ位置になるよう座り直し、再調整します。(ラジオの音が良聴耳にダイレクトに届くかたちです) 必要に応じて、クロスリンク送信機の音量を再調節します。

音量の調節方法



a) 音量を上げるには：ボリュームコントロールを時計回りに回転
b) 音量を上げるには：ボリュームコントロールを半時計回りに回転

良聴耳側に専門家の指示のとおり補聴器を装着し電源を入れます。

クロスでご使用される場合

・クロスリンク送信機本体のボリュームコントロールで、音量の強弱を行ってください。

バイクロスでご使用される場合

・クロスリンク送信機本体のボリュームコントロールで、音量の強弱を行ってください。
・補聴器の音量を上下して、総合的な音の強さを調整してください。

品質保証期間とアフターサービス

- ・本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- ・製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「お買い上げ年月日」等が記載されていることを確認の上、大切に保管してください。
- ・お客様による誤った使用、過失、改造による故障の場合、有償修理となりますのでご了承ください。
- ・保証期間内の修理の際には、保証書が必要となります。
- ・保証期間が過ぎたときは、ご要望より有償修理いたします。
- ・本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

販売店

製造販売業

フォナック・ジャパン株式会社

〒141-0031

東京都品川区西五反田5-2-4

レキシントン・プラザ西五反田

TEL: 0120-06-4079 (お客様相談窓口)

FAX: 0120-23-4080

www.phonak.jp

PHONAK
フォナック

life is on